仏さまの持ちものなど

蓮の花（蓮華）

泥の中に生えても綺麗な花を咲かせる蓮は、けがれのない清らかさを表しています。

宝珠

すべての物事を、思うとおりにかなえてくれるという宝の珠。地蔵菩薩などの持ち物です。

邪鬼

四天王に踏まれてこらしめられている、悪い鬼です。

金剛杵

もともとはインドの武器。雷の形をしています。人間の心や体を苦しめる「煩悩」を打ち砕くものです。

金剛鈴

密教の儀式で使う道具で、鈴の持ち手が金剛杵になっています。振り鳴らすと澄んだ音がします。

羂索

先端に環と金剛杵の半分がついたロープです。煩悩をしばりつけます。不動明王などの持ち物。

剣

邪悪なものや、煩悩を断ち切るための剣。不動明王などの持ち物です。

もっと知りたい、一休さん

アニメや絵本にもなった、「一休さん」を知っていますか？とんちで大人をぎゃふんと言わせる「屏風の虎」や「このはし渡るべからず」の話を知っている人もいるかもしれませんね。でも実は、そうした子ども時代のお話は、あとになって作られたものなのです。

実際の一休は、室町時代の中頃、今から600年ほど前に生きた人です。お坊さんが守るべき決まり事をあえて破るなど、型にとらわれない生き方で人々を驚かせました。しかし一休は、仏の教えについて真剣に考えて、そうした行動をしていたのです。展覧会では、一休が人生の後半を過ごした酬恩庵（一休寺）に伝わる、袈裟や笠、履などが展示されています。

重要文化財　一休宗純像
自賛　室町時代　酬恩庵〔一休寺〕（しゅうおんあん〔いっきゅうじ〕）蔵

このワークシートは、科学研究費補助金　基盤研究（B）「南山城地域の仏教文化と歴史に関する総合的研究」による研究成果の一部です。

編集レイアウト：京都国立博物館　教育室
京都東山区茶屋町527　TEL 075-525-2473（テレホンサービス）

京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

２０１４年４月２２日～６月１５日
特別展覧会　南山城の古寺巡礼　ー祈りと癒しの地ー

南山城の　みほとけ　めぐり。

国宝　浄瑠璃寺本堂（京都府　木津川市）

小中学生向けワークシート

南山城ってどんなところ？

京都府の南の方に、「南山城」と呼ばれる地域があります。奈良と京都にはさまれ、木津川という大きな川が流れています。奈良と京都をむすぶ重要な場所で、奈良時代には短い間ですが、恭仁京という都が置かれたこともあります。

南山城には、奈良時代や平安時代から続く、古いお寺がたくさんあります。お寺に伝わった仏さまに、会いに行きましょう！

博物館での お約束

- 作品にさわらないでね
- 小さな声で話そう
- ゆっくり歩こう
- メモは鉛筆でとろう

中央室

千手観音は、たくさんの人に手を差し伸べるために、千本の手を持っています。仏像では42本の手で表現されることが多いのですが、この千手観音にはそれ以上にたくさんの手があります。

平安時代(10世紀)につくられた木の仏さまですが、天平時代(8世紀)に奈良でつくられた乾漆像(漆と布でつくる像)と似ています。

私たちの姿とどこが違う？

昔の人は、何を祈ったのかな？想像してみよう。

菩薩 重要文化財 **十一面観音立像**
平安時代　禅定寺（ぜんじょうじ）蔵

菩薩 重要文化財 **千手観音立像**
平安時代　寿宝寺（じゅほうじ）蔵

第5室

四天王のうちの一人。鎧に描かれた、あざやかな文様に注目！

どんな表情をしている？

鎧には何色が塗られている？

普賢菩薩は、白い象の上に乗った姿で表されます。法華経というお経を信仰し、修行する人を守ってくれる仏さまです。

天 国宝 **四天王立像のうち多聞天立像**
平安時代　浄瑠璃寺（じょうるりじ）蔵

菩薩 重要文化財 **普賢菩薩騎象像**
平安時代　岩船寺（がんせんじ）蔵

第6室

阿弥陀如来は、極楽浄土に住んでいます。両手を上下にむけ、親指と人差し指をつなぐ手の形は、極楽から人々を迎えに来たことを表しています。

ポーズを真似してみよう！

如来 **阿弥陀如来坐像**
平安時代　蟹満寺（かにまんじ）蔵

仏さまのグループ

仏さまは、大きく4つのグループに分けられます。

- 如来　さとりをひらいたもの
- 菩薩　如来になるために修行中
- 明王　密教という教えに独特の仏さまで、インドの神様の姿を取り入れています
- 天　仏教に取り入れられた、いろいろな神様

第4室

毘沙門天は、四つの方角を守る四天王のうちの一人で、またの名を多聞天と言います。単独でまつられる時には、毘沙門天とも呼ばれます。鎧を身につけた、戦う人の姿をしています。

天 **毘沙門天立像**
鎌倉時代　笠置寺（かさぎでら）蔵

第7室

明王は、如来のようにやさしい姿では態度を改めない人々を、正しい道へ導くために、怖い顔をしています。

どんな表情をしている？

何本の腕がある？

＿＿＿＿＿＿＿＿本

明王 **不動明王二童子像**
室町時代　観音寺（かんのんじ）蔵

明王 重要文化財 **愛染明王坐像**
平安時代　神童寺（じんどうじ）蔵

南山城のみほとけめぐり

すべての仏さまに出会えるかな？
展示室で見つけたこと、感じたことを書きとめよう。持ち物や、乗っているものについて分からなかったら、最後のページを見てね。

ゴール！　スタート

第3－4室

十一面観音は、すべての方向を見て人々を救うために、たくさんの顔を持っています。

上についている小さな顔は、どんな表情？

どんなものを身につけている？

菩薩 重要文化財 **十一面観音坐像**
鎌倉時代　現光寺（げんこうじ）蔵

菩薩 重要文化財 **十一面観音立像**
平安時代　海住山寺（かいじゅうせんじ）蔵